

# 平成 26 年度 第 9 回 総合分析実験センターセミナー

下記の通り、平成 26 年度第 9 回総合分析実験センターセミナーを開催いたします。

今回は、日本原子力研究開発機構より鹿園直哉先生をお招きし、放射線による生物影響について、ご講演いただきます。

参加申込み等は必要ありません。多数のご参加をお待ちしております。

## — 記 —

日時：平成 27 年 3 月 11 日(水) 16:00～

場所：医学部院生研究棟 2 階 2260 室(セミナー室)

演題：クラスターDNA 損傷と放射線生物効果

演者：鹿園直哉 博士(日本原子力研究開発機構 照射細胞解析研究グループ 研究主幹)

要旨：

電離放射線の生物作用は細胞死、染色体異常、突然変異の誘発等と多岐にわたる。その作用がなぜ、どのようにして生じるのかという問いに答えることは正確なヒトの被曝リスク評価、放射線診断や治療、突然変異育種等の高度化につながる。

本講演では、DNA 損傷が局所的に複数個存在する「クラスターDNA 損傷」が電離放射線の生物作用の原因であると推察されるに至った過程を概説するとともに、クラスターDNA 損傷仮説を証明するため我々が進めてきたクラスターDNA 損傷による細胞死(複製阻害)や突然変異誘発に関する研究を紹介する。我々のデータはクラスターDNA 損傷が電離放射線の生物作用の原因であることを支持するが、放射線によって誘発されるクラスターDNA 損傷の実体や、クラスターDNA 損傷がどのように生物作用に結びつくのか等については不明な点が多く残されており、それらの解明が今後の課題となる。

今回の総合分析実験センターセミナーは鍋島地区での開催です。

問合せ先：寺東 宏明(内線：鍋島 2413：総合分析実験センター機器分析部門鍋島地区)